

# 教訓を生かして体制強化 南阿蘇村総合防災訓練

11月10日、村内全域を対象とした総合防災訓練が実施されました。

訓練は、布田川断層帯を震源とする震度6弱の地震が発生し、村内複数箇所で被害が出ている状況を想定したもの。県、村職員や警察署、村消防団、地区の自主防災組織などが参加し、各機関の情報伝達や避難所開設、住民による初期行動と避難行動などの訓練が行われました。

今回の訓練の結果や反省点を活かし、更なる防災体制の確立を目指します。



災害対策本部では各所からの情報を集約（役場大会議室）

〈問い合わせ〉総務課 防災・消防係 TEL(67) 1111

- ① 阿波人形淨瑠璃が披露されました
- ② 「天皇注連」では三種の神器である鏡を天照大神から受け取ります



**■住民の努力で大盛況 長野阿蘇神社秋季大祭**  
長野阿蘇神社の「秋季大祭」が10月27日、長野地区の神楽殿にて開催されました。  
今年は祭を通して、熊本地震により大きな被害を受けた同地区の復興に向けた気運を高めることと、また村外などから多くの人々を呼び込み地区を活性化させることを目的に、長野地区復興むらづくり協議会が主体となり、企画段階から話し合いを重ねての開催となりました。その新たな取り組みのひとつとして、徳島県から

そして、長野岩戸神樂の奉納では、全二十三座の中から、高さ約10mの青竹を登り先端にある鏡を取る「天皇注連」など全十座が披露され、会場は大きな歓声と拍手に包まれました。そのほかにも、保育園から中学生までの子どもたちが参加する「奉納こども相撲」が行われたり、村の野菜や米などの特産品が販売されたりと、夜遅くまで多くの人が賑わいました。

協議会の人たちをはじめ多くの地区住民の努力により大盛況のうちに終えることができましたが、一方で、少子高齢化による後継者不足や開催経費の問題など多くの課題を抱えているため、今後も協議会などを通じて祭りの開催や集落の将来について考えていきます。

**南阿蘇村  
復興むらづくり  
だより**

TEL(67) 1113  
復興推進課



VOL.18

**災害公営住宅基本協定調印式**  
10月22日、新たに整備される災害公営住宅の基本協定調印式が行われました。協定を結んだのは、豊工務店を代表とする県内4社からなるグループで、下西原第2団地と長陽西部団地に合わせて26戸が追加建設されます。



村長と事業者代表の鉄谷浩之社長（豊工務店）